

苫小牧市第2学校給食共同調理場改築事業

苫小牧市教育委員会教育部
第2学校給食共同調理場

1 事業の目的

第2学校給食共同調理場は、昭和53年の建設から40年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいることから、児童生徒への安心・安全につながる調理環境を有する施設整備を行うことを目的に、美原町への移転改築を計画したものです。

新調理場の建設にあたっては、「学校給食衛生管理基準」及び「大量調理施設衛生管理マニュアル」に沿った高い衛生水準の確保を図ります。

また、多彩な献立の調理が可能な厨房設備を整備し、よりおいしい学校給食の提供を目指します。

2 建設地の選定理由

- (1) 既存施設から比較的近距离にあり、配送・回収計画への影響が小規模
- (2) 幹線道路へのアプローチに優れ、効率的な配送・回収計画が可能
- (3) 新たな学校建設の予定がなく、遊休市有地の活用が可能



3 新調理場の整備規模

	新調理場	現調理場(R1. 5. 1 現在)
建設面積	2, 4 0 0 m ² 程度	1, 0 4 7. 3 8 m ²
提供通常食数	4, 5 0 0 食程度	3, 7 9 6 食
配送校	小学校 7 校、中学校 6 校	小学校 7 校、中学校 4 校
構造	鉄筋コンクリート造(RC造)又は鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC造)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造
床・設備	ドライシステム	ウエットシステム(ドライ運用)

4 新調理場の整備概要

- (1) 「汚染作業区域」と「非汚染作業区域」を明確に区画
- (2) 原材料の相互感染防止のために、食材の分類ごとに作業諸室を区分
- (3) 通常の調理室とは別に、アレルギー対応食専用調理室を設置
- (4) 提供する副菜数を増やすために、和え物室を設置
- (5) 児童生徒の見学対応を目的とした研修室の設置
- (6) 耐震性を確保するとともに、非常時に直接屋上に上ることができる外階段を設置し、100名程度の避難場所を確保

5 整備事業費

本改築事業におけるプロポーザルの提案限度額は、2,134,000 千円（消費税及び地方消費税の額を含む）としています。

6 整備予定スケジュール

令和2年度	～令和3年11月	建設工事
令和3年12月	～令和4年1月	テスト調理等開業準備期間
令和4年1月	(令和3年度3学期)	供用開始

7 その他

本改築事業は、設計・施工一括方式を用いた公募型プロポーザルにより事業者を選定することから、実施要領等を市ホームページに公表していますので、参考にしてください。